



野島崎灯台



伏姫八房翔天の像

滝田城址から望む三芳



めがね橋

房総半島最南端 ぐるっと太平洋

白浜

日本で第2番目の洋式灯台

房総半島の最南端、変化に富んだ海岸の岩礁では、今も素潜りの海女による、サザエ・アワビ漁が盛んです。白浜地区のシンボルでもある野島崎灯台は、近代的な洋式灯台として、日本で2番目に誕生したものです。世界の船舶を導く、東京湾の玄関として、海上31km四方を照らし、美しいその姿から「白鳥の灯台」とも呼ばれ、親しまれています。



SHIRAHAMA



太平洋に突き出た白浜野島崎



白浜音頭全国大会

千葉の三大民謡として歌い継がれている新民謡「白浜音頭」。毎年9月に全国大会が開かれています。



坊滝



遊遊の里



大日山遊歩道

標高333.3mの大日山。坊滝を結ぶ遊歩道は、景色を楽しむハイキングに最適。

豊かに広がる大地 まほろばの里 三芳

豊かな自然に囲まれた純農村

安房の国の国府は三芳地区にあったといわれ、滝田城址などいたるところに歴史を感じる場所があります。自然に恵まれたこの純農村地域は、他に先駆けて「安全で美味しい」をテーマに農産物を作ってきました。現在、水稲のほかにかんなどの果実、花卉栽培も盛んです。地区の中心にある直売所には、収穫された乳製品、加工食品が並び、休日は遠方から買い物にくる人でいっぱいになります。



MIYOSHI